

# 総合的な学習の時間における授業づくりのポイント

遠山 慎太郎

## 1 総合的な学習の時間における主眼について

総合的な学習の時間では、授業の主眼1を二つの観点から書きます。一つは、捉えさせる内容【知識及び技能】です。二つは、そのための活動のゴールを書きます。

### ○ 主眼のつくり方の例

主眼1 ～は、～であること（になること）を捉え、○○を決めることができるようにする。

【第5学年「久留米餅のひみつを探ろう！」の主眼の例】

**【学習指導要領解説（23ページ）内容の焦点化】**

3（1）各学校において定める目標については、各学校における教育目標を踏まえ、総合的な学習の時間を通して目指す資質・能力を示すこと。

**【学習指導要領解説（27ページ）】**

（4）各学校において定める内容については、目標を実現するにふさわしい探究課題、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力を示すこと。

① 捉えさせる内容は何だろう？  
② そのための活動はなんだろう？

① 21世紀を担う人間力の基礎を身に付けた子供  
【重点目標】自他を生かし、柔軟に考え、責任をもって行動する子供の育成  
② 地域の伝統とその継承に取り組む人々  
連携性、伝統文化への考え方、久留米への誇り

**【内容の具体化】**

単元「久留米餅のひみつを探ろう！」

- ・伝統文化を受け継いでいく意味と価値を考える。
- ・様々な人と出会い、久留米餅のよさを広げる。
- ・人々の生き方に触れ、久留米市民としての誇りをもつ。

1 久留米餅のよさを知る  
2 久留米餅のPRの仕方を考える  
3 PR作品をつくり発信する

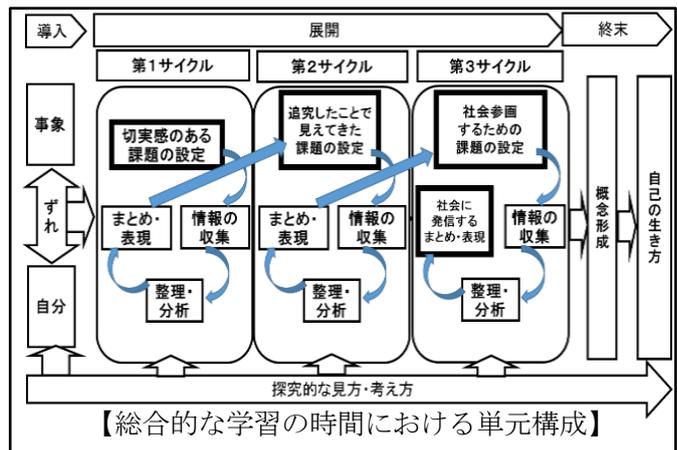
① 教材を何にするか？  
② それをどのような探究のサイクルで学習を進めるか？

① 久留米餅の伝統を守りながらも社会の変化に合わせて形を変えながら継承している人物主に関わる人(職人森山さん)  
→生き方に触れ、自己の生き方を考えることにつながる  
② 【課題設定】→【情報収集】→【整理・分析】→【まとめ・表現】を1サイクルとして、子供の意識がつながるようにする。

## 2 総合的な学習の時間における単元指導計画について

総合的な学習の時間では、子供が実社会や実生活の中から問いを見だし、自ら課題をたて、課題意識をもち続け、粘り強く取り組み、各教科で学んだ資質・能力を選択・活用して、課題解決をしていくことが大切です。

探究の過程で課題設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現のサイクルを三回行い、過程が深まるように単元を計画します。その時に、子供の意識が連続・発展する必要があります。そのためには、課題設定が大切です。第1サイクルでは、切実感のある課題を設定します。第2サイクルでは、追究したことで見えてきた課題を設定します。第3サイクルでは、実際に社会に参画するための課題を設定し話し合い、改善して実社会・実生活に発信していくように単元を仕組んでいきます。



### 3 総合的な学習の時間における一単位時間の学習過程について(整理・分析の段階)

総合的な学習の時間では、収集した情報を個人やチームで比較したり、分類したり、関連付けたりして課題を解決していくことを大切にします。

○ 一単位時間の学習過程 (波線は、ICT 活用)

段階	子供の活動	○ 教師の具体的支援
導入	<p>○ 前時までの学習について振り返り、本時の課題について話し合うめあてをつくる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             チームの考え ← 比較 → チームの考え         </div> <p>めあて □□について話し合い、○○を決めよう。</p>	<p>○ 活動の目的を達成するために情報の整理・分析の必然性をもたせ、前時までのチーム全体の考えを画面共有し、全体に提示する。</p>
展開	<p>○ 本時のめあてに対しての活動の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【見通しは以下の3つを書きます。】</p> <p>□内容(何を) □方法(どのような) □条件</p> </div> <p>○ チームごとに、視点を基に課題を解決するために情報を整理し、傾向を分析する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             ・順序 ・多面的・多角的 ・具体化 ・抽象化         </div> <p>○ 複数の考えを比較・分類・関連付け、全体で話し合い納得解を見いだす。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">             考えA ← 比較・分類・関連 → 考えB         </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 5px;">             納得解         </div>	<p>○ 話し合いが活性化していくために、一定の条件を提示する。</p> <p>○ 多様な視点から考えさせるために、GTと話すことができる場を設定する(直接やzoom)。</p> <p>○ 考えの根拠を画面共有させながら説明させる場を設定する。</p>
終末	<p>○ 学習内容を振り返り、本時学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             まとめ □□は…である(…していこう)。         </div> <p>○ 次時への見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次は○○を実際に行いたい。</li> <li>・まだ、できていない○○を分担して行いたい。</li> </ul>	<p>○ 話し合いや決まったことの価値を自覚させるために、GTに評価してもらう場を設定する。</p> <p>○ 振り返りの視点(考えのよさ、次にやりたいこと)を示して、全体で個人の振り返りを画面共有し、提示する。</p>

### 4 総合的な学習の時間における ICT の活用について

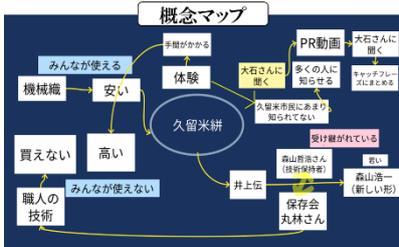
総合的な学習の時間では、ICTの活用について大きく三つの用い方があります。

- ・既習内容の振り返りや自他の考えの共有といった用い方
- ・学びのポートフォリオとしての用い方
- ・時間、空間を短縮させるオンラインのツールとしての用い方

○ 総合的な学習の時間における ICT の用い方



○ 友達の考えを取り入れたり一緒につくり上げたりすることができる。



○ データ化されているため、単年、学年を越えて蓄積ができる。



○ オンラインで、個人の課題に合わせた取材、体験ができる。